

～あなたのそばに私たちがいます
いこいの家に
拠点スタッフを配置

伴社協は、沼田老人いこいの家に事務所を置き、みなさんが住み良い地域づくりを進めています。拠点性を高めるため、スタッフを置いてみなさんの困りごとや地域の課題を気軽に相談できるように努めます。



広島市社協から本年度の地区社協活動拠点活性化支援を受けて体制を整えました。月、

水、木、土曜の午前中、拠点スタッフを相談員として四人が交代で待機。みなさんのお越しや電話をお待ちします。

住民主体型生活支援サービスを始めたボランティアバンク「とも」、福祉のまちづくりに賛助会員が増える「みんなの善意銀行」、社協を窓口にしたコロナワクチン接種予約代行など、各団体と協力した新たな活動が広がっています。

伴会長は「社協は福祉に関わる地域のみなさん、各団体のまとめ役。社協の枠を超えた地域の課題の対応に連携の輪を広げたい」と強調します。

メモ

老人いこいの家は伴社協が市指定管理者として令和4年4月から5年間、継続管理が決められました。

伴社協が3期12年間、指定管理しているこの施設は昭和54年開設。平成30年1月に沼田合同庁舎「火山館」二階に引っ越しました。社協は「地域での管理がふさわしい」と要望してきました。

コロナ禍で再三、使用が制限されましたが、令和元年度利用者は1万9千人を超え、広島市から管理運営がAランクと評価。今回入札を経て4期目の受託が決まりました。

大会議室、談話室、男女浴槽を備え、サークル活動、自主運営の介護予防運動教室やサロンの開催など、お年寄りの健康保持や快適な交流の場として地域の活動拠点になっています。